反磁性体太陽の太陽圏外磁場への衝突仮説に基づくマウンダー極小期と現代との歴史相関と近未来予測 SC23 ... SCm11 SC24 ... SCm10 神の見えざる手(宇宙線)が これら相関から小氷期の 人類文明の歴史を創ります 到来が予測されます。 下段の年表は過去事象(黒)と現在事象及び未来の予測事象 下記のグラフはガリレオ・ガリレイの時代からの太陽黒点グラフのー (赤)を表しています。 未来予測に際して、過去事象同様な小 部です。左上のグラフは近年の太陽黒点グラフです。近年のグラフ 太陽圏外磁場に反発する太陽の反磁性磁場 は1600年代初頭に酷似しており、太陽圏探査機IBEX、惑星探査機 氷河期が到来すると仮定して、太陽黒点グラフから相関年を割 近年の太陽 、太陽観測衛星「ひので」、9.11、3.11、気候変動、等の 黒点グラフ 似的復活 その結果、異常気象・地震・火山噴火が頻発し飢饉や戦乱が発生するのです 宇宙線は天才を誕生させ、ひらめきを与え文明創造する面もあるのです Dalton プラズマフィラメント磁場の壁が追 撃して加速しました。 追撃動作は 19c末~20c初頭にもありました。 残念なことに、ガリ Maunder レオが望遠鏡によ る太陽黒点の観測 を始めた1609年以 前の黒点データは ありません。 しかし幸いなこと に、ガリレオが残し てくれたマウンダー 極小期突入期の太 陽黒点データのお かげで我々は今、 近未来を知る事が 出来るのです。 90 SC4 SCO SC1 \$C2 SC3 SC6 SC7 SCm12 SCm4 SCm2 1850 プラスティア は 1645年~1715年 世界各地で頻繁に異常気象や冷温により飢饉が発生 場所により人口の40%以上が餓死した ダルトン極小期 790年-1830年 太陽系に外部磁 場が進入すると、 反磁性体の太陽 太陽活動異変、 が外部磁場に遭 宇宙線増大によ 遇して減速加速す り、諸々の天変地 ると、オールトの雲 異が発生します。 が刺激されて彗星 が多数出現すると 考えられます。 太陽活動復活 CME直撃頻発 マグマ融解噴火 異常等多類発 生存環境激変 第3次人口減少? →20億計画 1749 - 1827 ラプラス 1805 - 1865 ハミルトン